

めざそう！日本一のエコタウン

環境フェア2010に参加しました

江戸川区文化センター前の広場で開催された「2010 環境フェア」に、生ごみリサイクルと布ぞうり作りで出展しました。生ごみリサイクルのブースは会場のメインストリート、布ぞうり作りのブースは芝生広場です。立ち寄って下さる来場者に、「生ごみも古布も捨てるなんてもったいない。最後まで活かしきりましょう！」と、エコをお勧めする1日となりました。



生ごみリサイクルの前の様子

生ごみリサイクルは毎年環境フェアに出展していますが、布ぞうり作りは初めての出展です。初心者がぞうりを作るには2時間はかかります。興味を引く数多いブース会場で腰を据えて、ぞうり作りをしたいと言う来場者がいっしょにやるかと、心配もありましたがふたを開けてみれば大人気で、担当した会員は昼食を食べる時間もない程の大盛況でした。



布ぞうり作りの様子

布ぞうり作りのブースは皆さん真剣で静かです。古布がぞうりに生まれ変わり出来栄えに納得し、「昔、作ったのよ」「ありがとう」「楽しかった」と喜んで頂きました。



会場で作られたぞうり



生ごみ堆肥作り講習の様子

生ごみリサイクルは2004年に第1回の講習会を開催して以来、参加が700名を超え、来場者の中には以前受講された方もいました。講習会の担当スタッフを見つけて「生ごみ堆肥作り続けていますよ」「ミミズで生ごみリサイクルを始めたいので、やり方を教えて」等々の嬉しい声をかけて頂く事もありました。生ごみ堆肥作りは年々関心が高くなっていて、立ち寄って説明を聞く人も多く、2回行った堆肥作りの実演にも大勢の参加がありました。

楽しい生ごみ堆肥作り

春の講習会終了



春の講習会が終了しました

春の生ごみ堆肥作り講習会、全3回の日程が終了しました。修了者（2回以上出席）は46名熱心な方ばかりで、発泡スチロール箱の代わりに衣装箱を使うなど、すでに自分流の堆肥作りをしている方もいます。

講習会がスタートした4月は珍しく都心に雪が無い、真冬のような寒さが続きました。その後さわやかな日々が続いた5月が過ぎ、堆肥の水分調整に気を使う6月まで熱心にご参加下さった皆様とともに、「楽しい生ごみ堆肥作り」を目指してきた3ヶ月でした。2回目の講習会では、ミミズ箱を使った堆肥作りについて質問がありましたので、第3回目の講習内容を一部変更して、ミミズ箱方式について説明しました。

ミミズ箱方式の堆肥作り

小さなミミズの大きな働きに関心が集まり、3名が、ミミズ箱を使った堆肥作りを始めました。



手作りのミミズ箱

ミミズ箱方式の堆肥作りとは…

ミミズに生ごみを食べさせて、液肥を採る方法です。雨上がりに道端で見かける、ボールペンのような大きなミミズは、フトミミズで生ごみリサイクルには、適しません。生ごみを食べてくれるのは、体調7～8cm程のシマミミズという種類です。ミミズのおなかを通った生ごみは、ミミズのふんとなり優れた有機肥料に生まれ変われます。

ミミズ箱方式の特徴は…

生き物（ミミズ）が生ごみを食べている様子を、直接目で見られる事です。ミミズ箱の蓋を開けると、生ごみの周りに集まって、盛んに活動している様子がわかります。春と秋には、卵を産みふ化し繁殖していく、命の営みをミミズ箱の中で見る事ができ、ゴミを処理をしているというよりは、生き物を育てているという気持ちが強くなってきます。

ミミズを好きな人は少ないと思いますが、思い切って始めてみると、不思議と夢中になってしまいます。日々の管理は割り箸などを使えば、ミミズに直接触れる必要はありません。



（ミミズ箱の中の様子をのぞきこむ皆さん）

分科会での話し合い

- ・野菜クズだけを投入されている人の場合、ほとんどが分解していました。臭いは時間の経過できえます。
- ・千葉の富浦で海藻を使って堆肥作りの方は、ぬかが多く酸っぱい臭いがします。土を足すといいですね。
- ・種堆肥状態で、ゴミの量が減り満足されている方もいます。



分科会の様子

実験菜園

第六葛西小の学校菜園の一部をお借りして、生ごみ堆肥を使った実験菜園しています

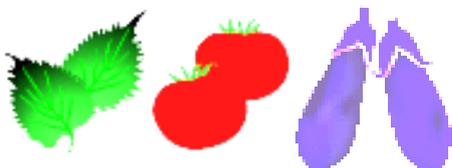
夏野菜の収穫が始まりました

6月18日に、大根・インゲン・ピーマン・ナスなどの、収穫をはじめました。梅雨に入り作業の予定も遅れがちになり、インゲンが育ち過ぎてしまいました。夏野菜は1~2日でも、驚くほど大きくなります。大根も1~2本に蕾がつきあわててすべてを抜き、その後は堆肥を入れて耕しオクラの種をまきました。オクラの畝は2列あり、順調に育ってくれば、7月には優しい黄色のオクラのお花畑が見られます。



収穫したピーマン・インゲン・ナス・オオバなど

菜園の作業をしていると、通りを行きかう人が足を止めて「毎日楽しみに、菜園を見えています。今年は、虫も病気も出ていませんね」と話しかけて下さいます。梅雨の時期には、トマトやキュウリに病気が出ることもあるかもしれません。今後、生ごみ堆肥だけの無農薬栽培の菜園がどうなっているかが楽しみです。7月には、定例会・夏の懇親会があります。そのときには、実験菜園から収穫出来たの野菜を提供したいと思います。時期が合うか心配ですが、どうぞご期待下さい。



収穫している様子

菜園を担当している会員は現在13名と多くなり、菜園周りの草取りも毎回できるようになりました。通りを歩く人からも「草が生えて気になっていました。きれいになりましたね」と、声をかけていただくこともあります。草はさすがに生命力が強く、寒い日が続いてもどんどん伸びて深く根を張っています。

休み時間に、子どもたちが見に来て「何してるの?」と声をかけられ、時には一緒に草むしりをするもあります。子どもたちは突然出てきたミミズに驚いたり、予想外に芽を出したカボチャに喜んだり、水やりに「キヤーキヤー」と歓声あげたりしています。



菜園の草取りの様子



クラブ会員の堆肥作りを紹介



* 発泡スチロール箱 8個

ジッパー袋を使って作っています。

堆肥作りをして2年です。発泡スチロール箱の状態を確認した上で、水分の多い堆肥には水分の少ない堆肥を入れ込んで、又はその反対という具合に、ブレンドして作っています。

(A.N)

* 発泡スチロール箱 8個

ジッパー袋を使って作っています。

* コンポスト 1個

堆肥作りをして11年になります。

植物を育てるのが大好きで、出来た堆肥は、ほとんど自分で利用しています。

(M.N)

* ミミズ箱方式

〔 大きな木桶 1個
発泡スチロール箱

* 発泡スチロール箱

* 自分流

堆肥作りをして7年になります。発泡スチロール箱で、カビが発生するまで作って、それからコンポストに入れてあります。そうすると早いです。

(T.N)

* ミミズ箱方式 5個

〔 発泡スチロール箱 1個
木製の植木鉢 4個

* 発泡スチロール箱 6個

発泡スチロール箱(ストック)6個

堆肥作りをして9年になります。家族が多いので、庭にたくさん置いています。今度、腐葉土作りを試みたいです。

(Y.T)

※ クラブでは自分流の生ゴミ堆肥作りの情報、育てている野菜・花の写真などを募集しています。

その他の主な活動

- ・ 緑のフェスティバルに生ゴミリサイクルと、布ぞうり作りで出展しました。
- ・ フラワーロード(小岩)花壇コンクールに、生ゴミ堆肥花壇が完成しました。
- ・ 布ぞうり講習会 第4回・第5回 と、パソコン教室 第2回・第3回 を行いました。
- ・ リサイクル施設見学会(6/23)に、8名参加しました。

千葉県富津市のリ・パレット(株)～中央防波堤最終処分場～燃やすごみの焼却施設

リ・パレット(株)は、廃プラスチックからリサイクルパレット(貨物用すのこ)を製造しています。リサイクルの基本は分別です。江戸川区はそれができているとお褒めをいただきましたが、プラスチックのリサイクルに、乾電池や小型家電まで入っているのが現実でした。

- ・ 都立白鷺特別支援学校の生ごみ堆肥作りを、支援しています。

給食の残飯を、発泡スチロール箱とコンポストで堆肥化する、中学生エコ班の活動を支援しています。水分が多い生ごみで心配もありましたが、ぼかしや種堆肥も使って順調に堆肥化が進んでいます。

- ・ 7月31日に小松川市民ファームで例会、終了後恒例の一品持ち寄りの暑気払いを行いました。

※ 区内各所で活動していません。皆さんもお近くで是非ご参加ください。